

社会福祉法人 桐生市社会福祉協議会

桐生みやま園 だより

<令和3年11月8日号（地域広報版）>



桐生みやま園が開設されてから40年が経ちました。

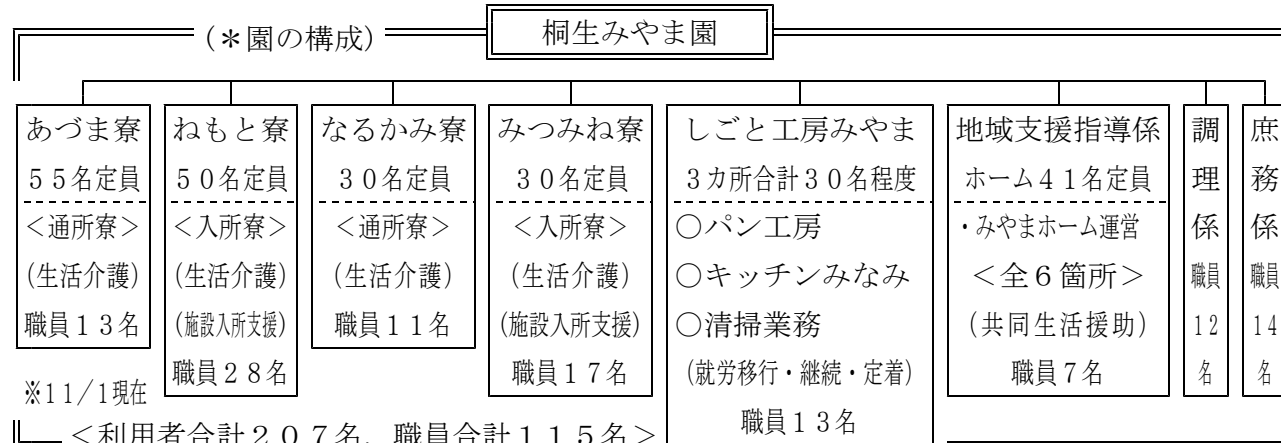
昭和56年桐生市社会福祉事業団として桐生みやま園が開設されてから早くも40年が経ちました。さすがに40年という月日の間に建物のあちらこちらに痛みが目立ち、施設としての老朽化はかなり進んできております。さらに授産施設として開設した当時と比べると、利用者さんたちの状況にも変化が出てきており、一人一人の特性の違いが多種・多様化し、現状の施設では個々のニーズに応じたサービスを提供するための環境・空間づくりが難しくなっています。いずれにしても、施設の建て替えが必要となってきた状況がうかがえます。



<開所から40年経ち、老朽化が目立ってきた施設>

過日、新聞報道をご覧になられた皆さんはご存じと思いますが、桐生みやま園は数年先に旧川内北小学校の跡地に移設の方向で話が進められています。現在地より1kmほど北に移ることになりますが、これまで同様、川内町の皆さんにはご理解とご協力をいただければ有り難く存じます。

【桐生みやま園の各寮・部署 ～ 利用者、職員合わせて320名程の施設です】



「みやま園の日常の1コマから。」

桐生みやま園を長い期間、利用されている方々がたくさんいますが、その多くがご高齢になってきています。以前は元気に体を動かしたり作業したりしていた方々が、思うように体を動かさなくなっているのが現状です。しかし、こうした状況でも、明るい気持ちで日々の生活に充実感をもって過ごしている様子が利用者の皆さんの表情から伝わってきます。



<チーム対抗の玉入れ競技！>



<車いすの方々は無理のないように輪投げを>

一方で利用者さんたちは、園以外の方々とのおふれ合いやかかわりをとても楽しみにしています。これまでのコロナ禍（警戒レベル2以上）においては、外部の方々とのかかわりをもつことは、ほとんどできない状況が続いてきました。特に、入所の方々は外出を控えるとともに、ご家族との面会も自粛してきました。必要に応じて面会する際にもご家族が施設建物に入ることはご遠慮いただき、玄関越しに内側と外側にてガラスを1枚隔てての対面方式を取ってきている状況です。

新型ウィルス感染症問題が収束し、以前のような生活スタイルに戻ったら、積極的に地域の皆様との交流の機会をもたせていただきたいと思います。何卒よろしくお願いいたします。

『桐生信用金庫川内支店のロビーに利用者さんたちの作品が並びました！』



桐生信用金庫川内支店さんのご厚意により、みやま園利用者の皆さんの作品を支店内に飾らせていただいております。しばらくの間、支店内スペースをお借りし、途中で寮ごとに作品を入れ替えるなどしながら展示させていただきます。桐信川内支店をご利用の際には、ぜひご観覧いただければと思います。 <展示期間：11/8（月）～12/3（金）>